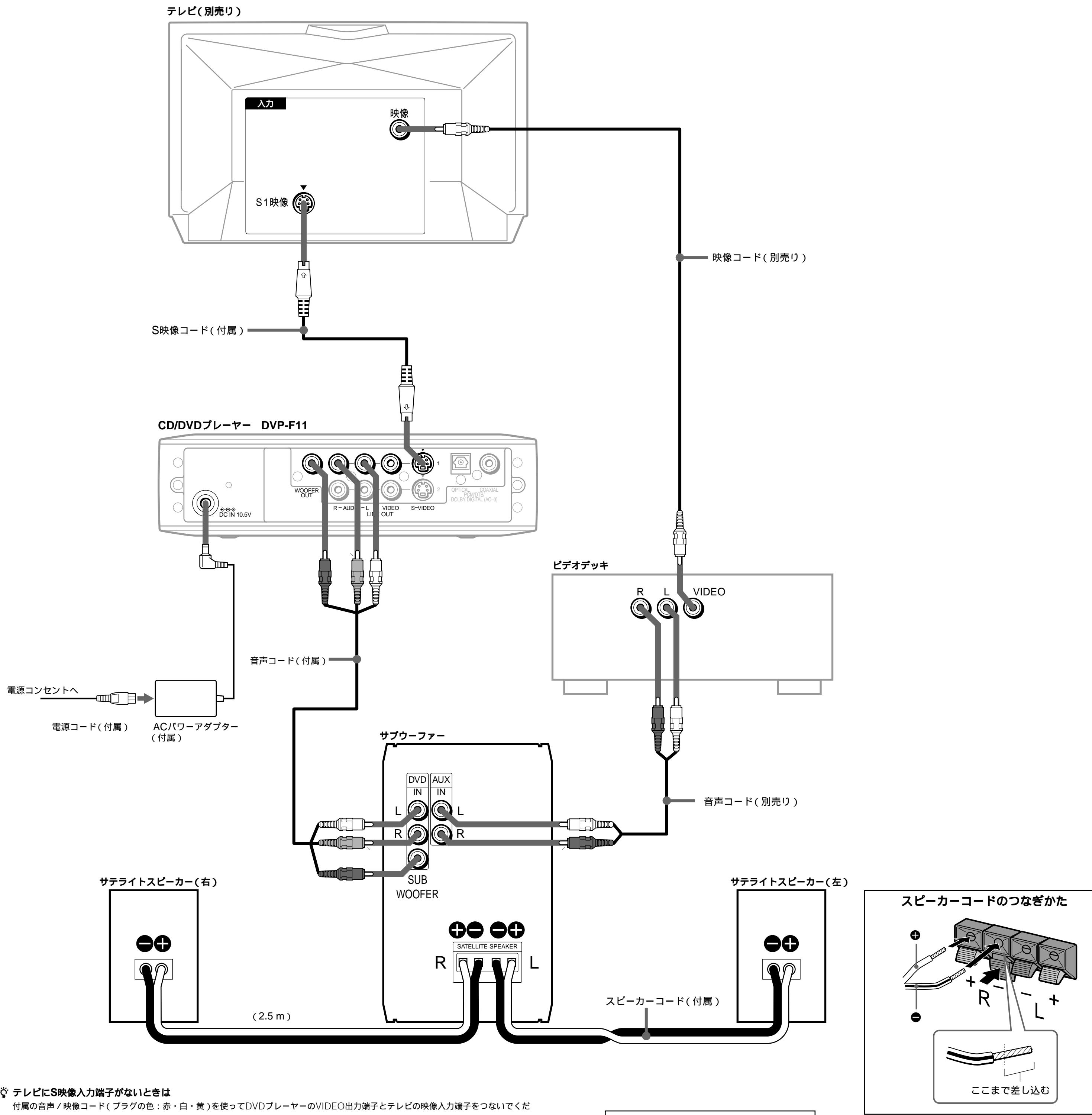


DVPK-11

接続図

接続する前に、必ず各機器の電源を切り、電源コードを抜いてください。
詳しくは、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

スピーカーシステムDVPK-11



※ テレビにS映像入力端子がないときは

付属の音声／映像コード(プラグの色：赤・白・黄)を使ってDVDプレーヤーのVIDEO出力端子とテレビの映像入力端子をつないでください。

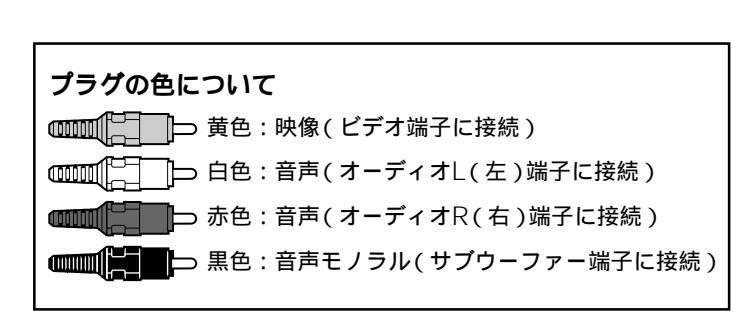
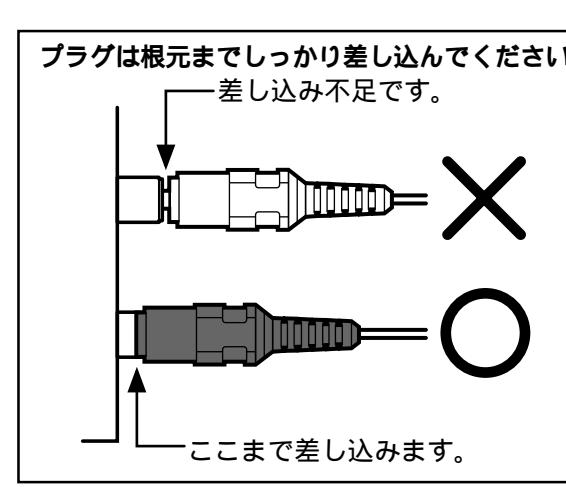
接続についてのご注意

- すべての電源を切ってから接続してください。
 - すべての接続が完了するまで、電源コードは接続しないでください。
 - プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な接続は雑音の原因となります。
 - 接続するときには、接続コードの赤いプラグはオーディオR(右)端子へ、白いプラグはオーディオL(左)端子へつなぎます。黄色いプラグの接続コードは、映像端子につなぎます。また、黒いプラグの接続コードは、ウーファー端子につなぎます。

スピーカーの接続についてのご注意

スピーカーコードは、コードに黒い線が入っている方を○側に接続してください。

Sony Corporation ©1999 Printed in Japan



DVDシステムをお楽しみいただくために

準備

付属品を確認する

次の付属品がそろっているかを確認してください。スピーカーシステムの箱に入っている付属品もあります。

- ・音声コード*(プラグの色:赤・白・黒)(1)
- ・スピーカーコード*(2.5 m)(2)
- ・フットパッド*(12)
- ・安全のために*(1)
- ・スタンド(1)
- ・スタンド取付用ネジ(1)
- ・音声/映像コード(プラグの色:赤・白・黄)(1)
- ・S映像コード(1)
- ・リモコンRMT-D109J(1)
- ・単3乾電池(R6)(2)
- ・ACアダプター(1)
- ・電源コード(1)
- ・ソニーサービス窓口・ご相談窓口のご案内(1)
- ・保証書(1)
- * スピーカーシステムの箱に入っています。

もし付属品が足りないときは、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

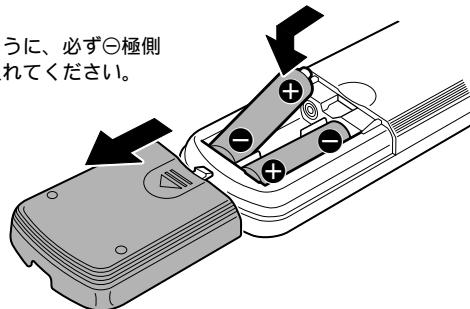
ご注意

上記の「ソニーサービス窓口・ご相談窓口のご案内」および「保証書」は、個別で各製品に付属しておりません。CD/DVDプレーヤー、スピーカーシステムのいずれにも上記のものをお使いいただけます。

リモコンに電池を入れる

DVDプレーヤーのリモコンに、単3形乾電池(R6)(付属)を入れます。④と⑤の向きを正しく入れてください。

イラストのように、必ず④極側から電池を入れてください。



ご注意
・横置きにするときは、スタンドを取り外してください。
・本機を移動するときは、プレーヤー本体を持ってください。スタンドを持つと、スタンドが破損することがあります。
・スタンドを取り付けずに、プレーヤー本体を縦に置かないでください。プレーヤー本体が安定しないため、倒れことがあります。

再生する

止めるときは

本体またはリモコンの■を押す。

※ 全体の音量、サブウーファーの音量を選んで調節できます。
MODEボタンをくり返し押して調節したい音量(MASTER VOL(全体)/SW VOL(サブウーファー))のランプを点灯させ、LEVEL+または-ボタンを押して調節します。

音域を選んでボリューム調節できます。

MODEボタンをくり返し押して調節したい音域(BASS(低域)/TREBLE(中高域))のランプを点灯させ、LEVEL+または-ボタンを押して好みの音になるように調節します。

再生する音源に適した低音の出力にサブウーファーのモードを切り換えられます。

サブウーファーのLEVEL+と-ボタンを同時に押すとMOVIE→MUSICのようにモードが切り換わります。MODEボタン横のSW VOLランプの色で現在のモードがわかります。

モード ランプの色 通した音源

MOVIE 緑 主に映画

MUSIC 赤 主に音楽

お買い上げ時はMOVIEになっています。

AUX IN端子につないだ機器(ビデオなど)を再生するときは

手順3でINPUTボタン横のAUXランプを点灯させます。

サブウーファーの電源は音声信号の入力に応じて自動的に切り換わります(オートパワー機能)。
無音状態が3分続くとサブウーファーは自動的にスタンバイ状態になり、I/O(電源)スイッチ横のランプが赤に変わります。再び音声信号が入力されると自動的に電源が入り、ランプが緑に変わります。

ご注意

無音状態が3分続かないオートパワー機能は働きません。すぐに電源を入れ切ったときはI/O(電源)スイッチを押してください。

ボリュームの設定をお買い上げ時の状態に戻すには
サブウーファーのLEVEL+と-ボタンを同時に押したまま、I/O(電源)スイッチを押します。

ご注意

本システムでDTS*の再生はできません。DVDプレーヤーのアナログ出力をサブウーファーにつないでいるときは、お手持ちのシステムが破損しないよう細心の注意を払う必要があります。DTS Digital Surround™の再生をお楽しみいただくには、DVDプレーヤーのデジタル出力に5.1チャンネルの外部DTS Digital Surround™デコーダーを接続する必要があります。

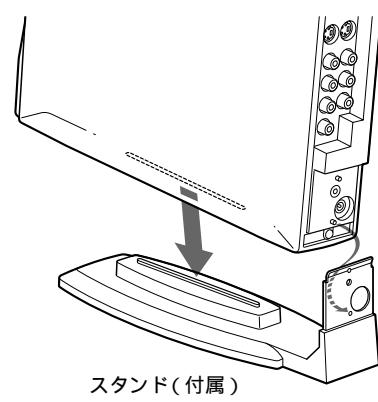
* Digital Theater Systems, Inc.からの実施権に基づき製造されています。DTSおよびDTS Digital SurroundはDigital Theater Systems, Inc.の商標です。

設置と接続

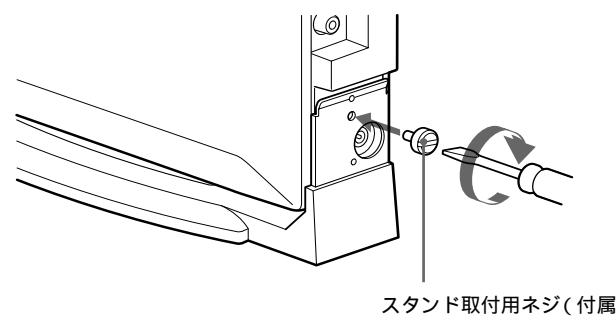
スタンドを取り付ける

DVDプレーヤーを縦に置きたいときは付属のスタンドを取り付けます。横にして置くときは取り付ける必要はありません。

- 1 本機側面の溝とスタンドの突起部を合わせて、DVDプレーヤーをスタンドに載せる。



- 2 付属のスタンド取付用ネジ(付属)で、スタンドを固定する。

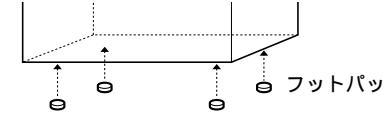


ご注意

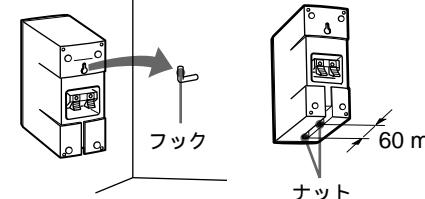
- ・横置きにするときは、スタンドを取り外してください。
- ・本機を移動するときは、プレーヤー本体を持ってください。スタンドを持つと、スタンドが破損することがあります。
- ・スタンドを取り付けずに、プレーヤー本体を縦に置かないでください。プレーヤー本体が安定しないため、倒れことがあります。

スピーカーを設置する

付属のフットパッドをサブウーファーとサテライトスピーカー(L,R)の底面に取り付けます。



市販のフックやナットを使って、サテライトスピーカーを壁に取り付けることもできます。

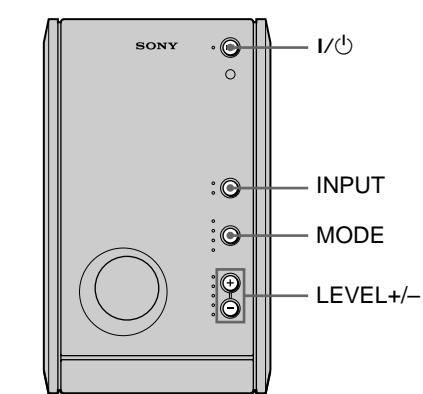
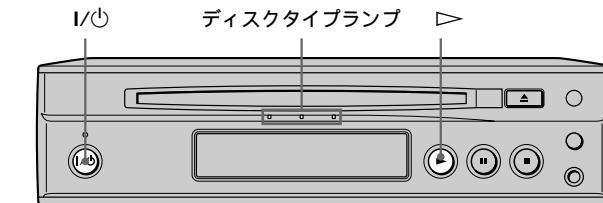


ご注意

- ・サテライトスピーカー(L,R)を壁などに取り付ける場合は、取り付けるのに適した壁を選び、器具は適切なものをお使いください。
- ・音場効果を生かすため、サテライトスピーカー(L,R)はテレビやモニターを中心にして左右両側に置いてください。

再生する

接続と設定が終わったら再生できます。



- 1 各機器の準備をする。

テレビの準備
テレビの電源を入れ、テレビの入力切り換えでDVDプレーヤーからの画像が映るようにします。

DVDプレーヤーの準備
本体のI/O(電源)スイッチを押して電源を入れておきます。

2 サブウーファーのI/O(電源)スイッチを押す。
サブウーファーの電源が入ります。スイッチ横のランプが赤(スタンバイ状態)から緑に変わります。

3 サブウーファーのINPUTボタンをくり返し押して、ボタン横のDVDランプを点灯させる。

4 MODEボタンを押してボタン横のMASTER VOLランプを緑色に点灯させてから、LEVEL-ボタンを押してボリュームを最小にする。

5 再生したい面をディスクタイプランプ側にしてディスクを入れて押す。
入れたディスクの種類を示すディスクタイプランプが点灯し、再生が始められます。サブウーファーのLEVEL+/-ボタンで音量を調節します。またリモコンのTV/DVDスイッチをDVD側にしておけば、リモコンの音量ボタンで音量を調節することもできます。

手順5のあとにメニュー画面が表示されたときは

←/↑/↓/→ボタンを使って再生するタイトルやメニューを選び、決定ボタンを押します。

その他

主な仕様

SS-MS11(サテライトスピーカー)	フルレンジ、防磁型スピーカー(EIAJ*)
形式	5×9 cm、コーン型
使用スピーカー	バスレフ式
エンクロージャー方式	定格インピーダンス 6
最大入力(EIAJ*)	100 W
出力音圧レベル	86 dB(1W, 1m)
実効周波数帯域	90~20,000 Hz
最大外形寸法(幅/高さ/奥行き)	グリルネット取り付け時: 約68×151×135 mm
質量	約790 g/1個

SA-WMS11(サブウーファー)

システム

形式 アクティブサブウーファー(防磁型)(EIAJ*)

使用スピーカー 13 cm、コーン型ウーファー、

デュアルボイスコイル

エンクロージャー方式 SAWタイプ

再生周波数帯域 40 Hz~200 Hz

出力
サテライトスピーカー 20 W×2
サブウーファー 20 W+20 W

入力端子

DVD IN(ビンジャック型)

AUX IN(ビンジャック型)

出力端子
SPEAKER OUT(スピーカー端子)

その他

電源 100 V, 50/60 Hz

消費電力 35 W

最大外形寸法(幅/高さ/奥行き)

約145×237×373 mm

質量 約6.3 kg

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

* EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。

故障かなと思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

スピーカーから音が出ない。

- 正しく接続されていない。
- ボリュームが最小になっている。
- サブウーファーの入力切換で、お聞きになるソースが選ばれていない。

サブウーファーから音が出ない。

- サブウーファーをDVP-F11に接続しているときには、DVDプレーヤーのサブウーファー設定を「あり」にしてください。

スピーカーから雑音が聞こえる。

- 正しく接続されていない。

突然音が聞こえなくなる。

- 正しく接続されていない。
- むき出しがなったスピーカーコードがショートしている。